

第68回  
気仙沼みなとまつり

報 告 書

開催日：令和元年8月3日（土）  
8月4日（日）

気仙沼みなとまつり委員会

## 第68回気仙沼みなとまつり 骨子

### ■ 8月3日（土）

○初日：田中前大通り会場（交通規制：午後4時00分～午後9時15分）

- ・「オープニングセレモニー」（午後5時00分～午後5時40分）
- ・「はまらいんや踊り」（午後6時00分～午後8時30分）

田中前地区の大通りを会場として「輪踊り」形式で実施

### ■ 8月4日（日）

○港町/内湾会場（交通規制：午前10時30分～午後9時30分）

- ・「内湾海上行事」（正午～午後5時の予定）

宮城外洋帆走協会の協力によるヨットの展示、見学、帆走披露を行う

- ・「みなとまつりパレード出発式」（午前11時50分～正午）
- ・「みなとまつりパレード」（正午～午後3時30分）

郷土芸能、ブラスバンドなどの団体が港町臨港道路をコースとして進行する

- ・「打ちばやし大競演」（午後5時00分～午後8時30分）

気仙沼市内その他の太鼓団体による「打ちばやし大競演」を港町臨港道路で実施

- ・「海上うんづら」 第一部（午後5時00分～午後7時00分頃まで）  
停船演技（港町岸壁への接岸）「どや節」披露  
第二部（午後7時00分頃～午後8時30分）  
内湾での運航演技

- ・「さんま船集魚灯披露」（午後5時00分～午後8時30分）  
協力：第八十一豊清丸 出船しサンマ漁の実演を披露

- ・「海上打ち上げ花火」（午後8時00分～午後8時30分）

- ・「露店コーナー」（午前11時30分～午後8時30分の予定）

※港町/内湾会場では、港町臨港道路を進行しステージ付近で演技披露を行うパレードから、打ちばやし大競演に繋げて、海上うんづらと迫力ある演技を魅せる。クライマックスは海上うんづらの運航、打ちばやし大競演、さんま船集魚灯披露、海上打ち上げ花火で盛り上げていく。

## 1. 特 徴

- (1) 今年のみなとまつりは、これまでの反省点と復興状況を考慮し会場を設定し、かつ、この先のまつりの姿を見据えて、行事ごとの連携を図り、人の流れを作りながら、まつり全体がより一体となるようなプログラム構成で、“港のまつり”のイメージを念頭に企画した。
- (2) 8月3日（土）田中前大通りを会場に開催の「はまらいんや踊り」は、暑さ対策として、昨年より開始時刻を30分繰り下げ、午後6時開始とした。これに伴い「オープニングセレモニー」も午後5時から開式。今年もインドネシア共和国アリフィン・タスリフ駐日大使にお越しいただいた。踊りへの参加は、学校の部、サークル・自治会の部、企業の部から62団体、約2,800名となった。
- (3) 8月4日（日）正午から内湾海上行事として、宮城外洋帆走協会のご協力によるヨットの展示、見学と帆走披露を行った。
- (4) 正午からの「みなとまつりパレード」は、本年も復興工事により港町臨港道路を会場に、スタート地点をローソン港町店前、ゴール地点をみちのく建設工業前とするコースで実施した。停止演技場所はスタート地点付近と本部ステージ前付近の2箇所を設定した。スタート地点付近で出発式を行った後、会長、実行委員長ほか乗車の主催者先導車両に続き、14団体、約800名が進行した。
- (5) 夕刻からの「打ちばやし大競演」は実行委員長の挨拶で開始し、令和元年記念のゲスト熊谷育美さんに、太鼓の演奏で歌を披露いただいた。第八十一豊清丸のご協力による「さんま船集魚灯披露」では、出船してのさんま漁の実演も実施した。午後7時過ぎに地震が発生したため、行事を一時中断し安全を確認後再開した。「海上うんづら」も再開後に運航演技を行った。令和元年記念の「海上打上げ花火」（芳賀火工）は予定通り実施。昨年に続き台船を使用しての尺玉やスターマインのほか、芳賀火工が得意とする水中花火も行った。

## 2. まつり行事内容について

<8月3日(土)>

### (1) 第68回気仙沼みなとまつりオープニングセレモニー

田中前大通りに特設のまつりステージにて午後5時より開式。司会進行は、気仙沼出身フリーアナウンサーの岩手佳代子さんと気仙沼商工会議所青年部の一色法人さんに務めていただいた。

恒例の(一社)気仙沼青年会議所による勇壮な「銀鱗太鼓」がオープニングを飾った。気仙沼みなとまつり委員会会長の菅原茂市長の挨拶の後、小野寺五典衆議院議員をはじめ来賓から祝辞をいただくとともに、今年もインドネシア共和国アリン・タスリフ駐日特命全権大使にご臨席、お言葉をいただいた。

来賓紹介、主催団体紹介に続き、はまらいんや踊り参加団体のメッセージが披露され、はまらいんや踊り主管の世代に架ける橋にバトンタッチ、「第68回気仙沼みなとまつり」が開幕した。

### (2) はまらいんや踊り(参加62団体、約2,800名)

今年は近年の暑さを考慮し、昨年から開始時刻を30分繰り下げた午後6時開始の予定であったが、10分程度早めのスタートになった。はまらいんや踊りには学校の部、サークル・自治会の部、企業の部から62団体、約2,800名が参加し、昨年と同会場(モスバーガー気仙沼店前～東北銀行気仙沼支店前)になる田中前大通りにて輪踊り形式で実施した。

会場周辺は、田中前大通り45号線交差点から中谷地交差点を通行止めとし、会場の安全と周辺の円滑な通行を図った。踊り会場では、みなとまつり委員会スタッフと各参加団体の運行係により、安全かつスムーズな運行を図った。

バンド演奏は、気仙沼出身のバイソン片山率いるバイソンバンドと、ジャズピアニストの岡本優子さんが迫力のある生演奏を披露した。また、飛び入りで声優の神谷明さんが出演し会場を沸かせた。

今年も市内小学生11名による掛け声隊が熱唱し、太鼓11団体が音楽にあわせて演奏した。ともに今では踊りにはなくてはならない存在である。こまめな休憩を挟みながら進行し、参加団体はそれぞれが趣向を凝らした衣装と踊りを披露した。参加者も観客もまつりを堪能し、熱気溢れた「はまらいんや踊り」となった。

<8月4日(日)>

### (3) 内湾海上行事

“港のまつり”を演出する試みとして、今年はタイトルを「内湾に並ぶヨットを間近で見よう！」として企画した。宮城外洋帆走協会のご協力で、ヨット7艇を内湾浮き桟橋に係留させ、正午より展示公開をした。各艇の艇長をはじめ協会会員約30名のご協力で船内の案内も行い、親子連れを中心に約100名が見学をした。

また、午後4時から、内湾神明崎付近にて実際に帆をあげて海面を走行する帆走を、解説を交えながら披露した。司会進行は、気仙沼出身フリーアナウンサーの佐藤千晶さんに務めていただいた。始めに、宮城外洋帆走協会の赤石隆理事長に挨拶をいただき、協会会員高橋さんの解説で帆走の模様を実況した。



内湾浮き桟橋で展示公開



帆走披露

### (4) みなとまつりパレード（参加14団体、約800名）

「みなとまつりパレード」は昨年と同会場の港町臨港道路で、スタートをローソン港町店前に、ゴールをみちのく建設工業前に設定し、停止演技場所はスタート地点付近と本部前ステージ付近の2箇所に設けた。司会進行は、岩手佳代子さんと気仙沼青年会議所の菊地祥太さんに務めていただいた。

出発時刻の正午を前にした午前11時50分から出発式を開式した。会長、実行委員長、主催団体長、インドネシア共和国駐日大使、来賓等によるテープカットを、気仙沼市吹奏楽団のファンファーレで行った後、会長、実行委員長ほかが自衛隊高機動車に乗車した主催者車両を先頭にスタートした。

打ちばやし巡行や踊りパレード、ブラスバンド、神輿渡御など恒例のパレードや趣向を凝らしたパレードが進行し、沿道に集まった観客からは、活気と伝統の演技に大きな拍手、時には大きな笑いが起こり盛り上がりを見せた。

## (5) 打ちばやし大競演（参加 27 団体、約 800 名）

今年も会場を港町臨港道路（みちのく建設工業前から神輿冷機前）にして、市内の和太鼓団体 27 団体、約 800 名の打ち手が 600 基余りの太鼓を並べ太鼓演奏を披露した。司会進行は気仙沼出身フリーアナウンサーの菅原克彦さんに務めていただいた。

午後 5 時から本部前特設ステージにて、打ちばやし大競演の始まりを告げるセレモニーを実施。主催団体長登壇の中、気仙沼みなとまつり委員会実行委員長菅原昭彦商工会議所会頭の挨拶に続き、今年初めての試みとなる、さんま漁の実演を行う中館捷夫漁労長からお話しをいただいた。太鼓団体紹介の後、令和元年記念ゲストとして熊谷育美さんに出演いただいた。これは、7 月に市内の太鼓団体が制作に参加した曲「みしおね」が発表されたことから、みなとまつりに際し太鼓演奏の演出で披露いただいたものである。その後、恒例となった初つきり太鼓から、打ちばやし大競演がスタートした。

午後 7 時 23 分頃、福島県沖を震源とする地震（最大震度 5 弱/石巻市、亘理町、双葉町（気仙沼市/震度 3））が発生、安全確保のため行事を一時中断した。警察、消防ほか関係機関から情報を収集し、津波等の心配が無く、かつ警察、消防の管轄外広域応援は不要で、警備体制を維持することが確認できたことから、実行委員長が主催団体と協議し、再開を決定、午後 7 時 37 分再開した。

今年も「さんま船集魚灯披露」「海上うんづら」「海上打ち上げ花火」各行事と連動したプログラム構成で、賑やかな気仙沼、みなとまつりならではの迫力ある演奏を展開した。

## (6) さんま船集魚灯披露

平成 25 年第 62 回から、ご協力をいただいている第八十一豊清丸による「さんま船集魚灯」は、今年初めての試みとなる「さんま漁実演」とともに披露された。午後 6 時頃に離岸、湾内を航行し、日没頃の時間帯にさんま漁の実演を披露した。集魚灯の点滅と網を下ろす様が、神明崎付近の洋上で行われた。その後、着岸し、再び会場を、そして復興に向かう気仙沼を集魚灯の明かりで照らし、来場した観客に大きな感動を与えた。



## (7) 海上うんづら

(一社) 気仙沼青年会議所の「海上うんづら」は、みなとまつりで大漁と海上安全を願う象徴として今年も実施された。

第1部は、午後5時からうんづら台船を港町岸壁に係留して「停船演技」を行った。今年も子供たちを乗船させて、打ちばやし大競演とともに太鼓演技を披露した。第2部は、うんづら台船を内湾で周回させながら演技をする「運航演技」を実施した。離岸間際の午後7時過ぎに発生した地震のため係留待機し、安全が確認された7時30分過ぎに出船した。予定を遅らせての運航演技開始となったが、気仙沼青年会議所メンバーの心意気を見せる海上での太鼓演奏は、陸の太鼓演奏との競演で、さらに観客を魅了した。

## (8) 海上打上げ花火

新元号初となる今年は、「“令和元年記念”海上打ち上げ花火」として、午後8時からまつりのフィナーレを飾った。今年も県内の花火業者である芳賀火工の花火師が、気仙沼の夜空に華麗な花火を打ち上げた。

花火は、オープニングスターメインで開幕。4号玉、5号玉、7号玉、8号玉、10号玉(尺玉)の連発打上げと、色と光の美しいジャンボスターメインなどとともに、芳賀火工が得意とする水中花火も行い、令和元年記念となる演出で、約2,400発を打ち上げた。

こちらは地震の影響も無く、打ちばやし大競演、海上うんづらとのコラボレーションで、気仙沼湾を華やかに彩った。

## (9) 露店コーナー

港町会場に、みなとまつり委員会としての出店場所(観光駐車場)を確保し、「露店コーナー」として、24店舗が出店した。11時30分から開店し、好天に恵まれた今年は客足も伸び、終了時刻の午後8時30分まで港町会場の賑わいを作った。

## 3. 協賛行事などについて

### (1) POKEMON with YOU キャラバン2018

昨年に引き続き、港町会場での実施となったポケモンコーナーは、東日本大震災後のみなとまつりで恒例の協賛行事となっている。会場の賑わいと、ポケモンを通じ、子供たちが集い、自然にコミュニケーションが生まれる環境を創り出すことを目的に行われた。正午から午後7時まで、ポケモングッズの特設販売スペースやポケモンとの記念写真撮影など、小さな子供たちや家族連れの観客を楽しませていた。

## 4. 人 出

まつり当日の人出は、8月3日(土)が35,000人(昨年比1,000人増)・4日(日)が41,000人(昨年比30,000人増)と、2日間合計では76,000人(昨年比31,000人増)。両日にわたり好天に恵まれ、降雨の影響があった昨年を上回り例年並みの人出になった。

## 5. 天 候

### ◇ 8月3日(土)

初日は、終日晴れで真夏日となる。夕刻からは気温も落ち着き、良い条件で開催することができた。(最高気温33.1度 午後6時頃の気温26.1度)

### ◇ 8月4日(日)

2日目は、雲のかかる時間帯もあったが、降雨の心配は無く、また日差し気温ともに厳しくならず、好条件の一日となった。(最高気温28.8度 午後6時頃の気温25.6度)

## 6. シャトルバスほか交通機関の臨時便について

### ■シャトルバス

臨時駐車場と会場を結ぶシャトルバスのほか、千厩・室根、唐桑・小原木、大島の各方面への帰宅便を運行。8月3日(土)、4日(日)ともに6コースを設定。

### ◎8月3日(土)

#### ①九条小コース

九条小学校 ⇔ 田谷本郷バス停 (利用者 延べ117人)

#### ②松岩小学校コース

松岩小学校 ⇔ 南郷バス停 (利用者 延べ183人)

#### ③旧西高校コース

旧気仙沼西高校 ⇔ 反松公園バス停 (利用者 延べ139人)

#### ④千厩・室根コース/帰宅便のみ

田谷本郷 ⇒ 千厩駅前 (利用者 8人)

#### ⑤唐桑・小原木コース/帰宅便のみ

南郷 ⇒ 中井小学校前 (利用者 11人)

#### ⑥大島コース/帰宅便のみ

田谷本郷 ⇒ 新王平 (利用者 なし)

## ◎8月4日（日）

### ①九条小コース

九条小学校 ⇔ 田谷本郷バス停 ⇔ 海の市 （利用者 延べ135人）

### ②鹿折小コース

鹿折小学校 ⇔ 海の市 （利用者 延べ199人）

### ③条南中コース

条南中学校 ⇔ 海の市 （利用者 延べ221人）

### ④千厩・室根コース/帰宅便のみ

海の市駐車場 ⇒ 千厩駅前 （利用者 20人）

### ⑤唐桑・小原木コース/帰宅便のみ

海の市駐車場 ⇒ 中井小学校前 （利用者 4人）

### ⑥大島コース/帰宅便のみ

海の市駐車場 ⇒ 新王平 （利用者 3人）

## ■JR 気仙沼線 BRT

8月3日（土）、4日（日）の両日、気仙沼駅発 本吉駅行の臨時便を運行。

◎8月3日（土）／20：30 発

◎8月4日（日）／21：35 発

## 7. 出 動 （2日間の延べ人数・カッコ内は昨年実績）

気仙沼警察署	116人（ 165人）
気仙沼市交通指導隊	48人（ 55人）
気仙沼市防犯実働隊	116人（ 118人）
気仙沼海上保安署	10人（ 8人）
気仙沼消防署（消防本部含む）	48人（ 50人）
気仙沼消防団	120人（ 110人）
気仙沼市役所	372人（ 372人）
気仙沼市青少年支援センター	11人（ 18人）
（公社）気仙沼シルバー人材センター	20人（ 20人）
警備艇	12人（ 9人）
警備部会・警備会社	48人（ 48人）
気仙沼商工会議所	34人（ 32人）
早稲田大学学生ボランティア	52人（ 68人）
合 計	1007人（ 1073人）

## 8. 警備・交通規制

交通規制区域について、田中前大通りを会場とした8月3日(土)は、昨年同様、田中前大通り45号線交差点から中谷地交差点までを車両通行禁止、さらにこの区間で交差する市道も1区画分を車両通行禁止とした。そのほかの付近の通行は一部(神山公園周辺)を除き規制することなく通常通行とし、各所に警備員等を配置し、誘導と混雑の緩和に努めた。

8月4日(日)も昨年同様、会場をパレード開始の正午から花火終了まで、港町臨港道路に設定したことより、一部区間(中央公民館からお魚いちばまでのホテル観用下の道路を、北進のみの片側一車線通行)を除き、午前10時30分から午後9時30分まで、会場付近一帯を車両通行禁止とした。会場近辺の混雑緩和を図り、また、規制区間の車両と人が交差するポイントをはじめ、各所に警備員などを配置し安全確保に努めた。

港町の岸壁については、海中転落などの危険を防止するため、警備員を配置し進入禁止に努めたが、万が一に備え、救命用浮き輪やハシゴを設置した。

両日とも、まつり会場の警備については、まつり委員会の警備計画のほかに、ボランティアなど独自の人員を配置し警備にあたった。

## 9. 事 故 (カッコ内は昨年の数字)

まつり期間中に会場付近で発生した事故等の件数は以下の通り。

- ・人身事故 0件(0件) ・物損事故1件(0件) ・けが病人 5件(0件)
- ・遺失 30件(9件) ・拾得物 45件(20件) ・迷子 3件(3件)

気仙沼警察署や気仙沼海上保安署、気仙沼消防署ほか警備に携って頂いた各団体の協力に感謝する。

## 10. 清 掃

まつり会場内にエコステーションを設置し、本年も学生ボランティアの呼びかけにより、来場者には分別の徹底やゴミの持ち帰りに協力を頂いた。

会場周辺の清掃は8月4日(日)早朝に田中前大通り周辺地区を、8月5日(月)早朝に南町・内湾地区・港町を下記の団体の協力を頂き実施した。

### 早朝清掃協力者

(公社)気仙沼シルバー人材センター、市民憲章推進協議会気仙沼地区部会、気仙沼海友会、全国海友婦人会気仙沼支部、気仙沼市婦人連絡協議会、清港会、(株)気仙沼商会、気仙沼市役所、気仙沼商工会議所